

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和6年3月20日

事業所名 ILIS CLUB阿倍野

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		個室が2つあり、フロアも広々とした空間です。	
	2	職員の配置数は適切である	○		児童発達支援管理責任者1名、公認心理師2名、作業療法士1名、保育士2名、児童指導員3名が在籍しています。	利用されるお子様の人数に対して配置職員が不足しないように、シフトを工夫して組んでいきます。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	○		バリアフリーのフロアであり、玄関は二重鍵です。また、写真や絵カード等を用いて視覚的な構造化を図り、情報伝達への配慮をしています。	本年度は、壁一面にホワイトボードを貼り、小グループや個別毎の日課を視覚的に提示する等して障がい特性に応じた対応を進めて参りました。今後も利用されるお子様に応じた合理的配慮を推進して参ります。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○		毎日の清掃や消毒を実施し、清潔で心地よく過ごせるようにしています。	本年度は、個室の床を張り替えるなど劣化した設備を随時更新して参りました。利用されるお子様に清潔で心地よく過ごしていける空間を作って参ります。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		定期的に話し合いを設けて職員同士のコミュニケーションを大切にしています。	
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○			
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○			
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○	第三者による外部評価は行っていないが、社内での内部監査を行っています。	
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		社内、事業所内で定期的に研修を実施しています。	社外研修にも参加して資質向上に取り組んでいますが、さらに職員自ら問題意識をもって主体的に社外研修にも参加できるようにして参ります。
	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○		保護者の方、お子様のニーズを考え、職員間で担当者会議を行ったうえで個別支援計画を作成しています。	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
適切な支援の提供	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		公認心理師等による発達アセスメント等随時実施しております。	標準化されたフォーマルアセスメントについては、今後MCHATやLC-R等の検査を効果的に行い、支援計画に反映していきます。
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○		各専門職員の視点だけではなく、ご家族との連携や幼稚園や保育園等地域との連携した情報も考慮して、職員間で話し合い具体的な支援内容を設定しています。	
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○		支援計画の内容を周知し、計画内容に沿った支援を行っています。	
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		朝礼終礼、事業所会議において活動プログラムの立案及び検討を行っています。	
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		土日祝日はイベントを実施し、平日についても、多様な教材を用いてそれぞれのお子様に合わせてプログラムを実施しています。	
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	○		お子様の発達段階や状況に応じて、個別療育、集団療育、小集団療育を組み合わせる児童発達支援計画を作成しています。	
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		毎日朝礼において職員間で打ち合わせを行い、その日の療育内容についての確認や検討を行っています。	
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		毎日終礼において職員間でその日の療育の振り返りを行い、気付いた点を共有し、次の療育機会にいかしています。	
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		業務日報だけではなく、朝礼終礼ノートにも支援内容や改善点について記入しています。	
20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○		保護者の方と面談等でモニタリングを実施しています。		

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		サービス担当者会議には児童発達支援管理責任者を中心として適切な職員が参画しています。	
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	○		各関係機関と連携してお子様の支援を行っています。	
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている		○	医療的ケアが必要なお子様や重症心身障害のあるお子様は現在通所されていません。	
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている		○	医療的ケアが必要なお子様や重症心身障害のあるお子様は現在通所されていません。	
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		相互訪問や送迎時等情報共有と相互理解を図っています。	
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		送迎時や電話連絡等で支援内容等の情報共有と相互理解を図っています。	
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		在籍児童について主に電話連絡等で支援内容やお子様の状況について情報共有を図っています。	
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある		○		社会情勢を鑑みて、関係機関との交流を図っていきます。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	○		地域の障がい児部会等に参加しています。	
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		個別療育のフィードバック時や送迎時、連絡帳等でその日の療育内容だけではなく、お子様の発達状況や課題について共通理解を図っています。	
31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている		○		体系化された家族支援プログラムを提供していただけるように外部研修受講しつつ家族支援に努めていきます。	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		契約時に説明しています。	
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○		児童発達支援ガイドラインをもとにお子様に必要な支援内容を分析し、個別支援計画の内容を設定して説明し同意を得ています。	
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		個別療育のフィードバック時や送迎時等で子育ての悩み等に対する相談助言を行っています。	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○		コロナ禍においては保護者会等は中止していますが、今後保護者の方の希望を考慮しつつ実施形態を模索して保護者同士の連携支援に努めていきます。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○		保護者の方からの相談や申入れについては迅速かつ適切に対応できるようにしています。	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		毎月のおたよりやブログ、インスタグラムで活動内容を発信し、年に一度、自己評価表の結果をホームページで公表しています	
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	○		個人情報が入力されている資料は、鍵付きロッカーに保管しています。	
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		職員間でお子様や保護者の方が理解しやすいように視覚的支援等を取り入れつつ情報伝達に努めています。	
40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○		コロナ禍以後は、地域行事への参加や招待は中止していますが、今後の社会情勢を鑑みて事業運営を検討していきます。	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	○		職員には周知していますが、保護者の方には周知できる機会が少ないため、おたよりやブログで発信していきます。	
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		月に一度、地震や火事、不審者等の状況を想定した訓練をお子様も含めて実施しています。	
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	○		契約時にお子様の医療的状況を母子手帳を見せていただきながら確認させていただいています。	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている		○	お子様の食物アレルギーの状況に応じて対応をしています。	今後は、医師の指示書に基づき、対応するようにいたします。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		日々の朝礼終礼でヒヤリハット事例を話し合い、事業所内で共有しています。また、他事業所のヒヤリハット事例についても共有しております。	
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		年に1回、事業所内で虐待防止研修を実施しています。また、チェックリストについても実施しております。	
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	○		契約時に身体拘束に関する事項について説明し保護者の方の同意を得ています。	

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。